

ワークショップニュース

お問い合わせ

新潟市 計画調整課

TEL.025-228-1000 (代表)

FAX.025-223-1557

e-mail/kikaku@city.niigata.lg.jp

会場／豊栄地区公民館

〈開催日〉

第1回／11月 6日 (日) 9:30～12:00

第2回／11月17日 (木) 19:00～21:00

第3回／11月26日 (土) 13:30～16:00

開催概要

- 新潟市では、現在新しい新潟市の方向性を示す「総合計画」の策定を進めています。(対象期間:H19～26年度)
- この計画について、市民の皆様からご意見をいただくため、市内5会場において、ワークショップを開催し、「新しい新潟市」の将来像について、ご検討をいただきました。
- 今回参加者の皆様からいただいたご意見をふまえながら、H19年度4月スタートへ向けて、策定作業を進めてまいります。



第1回 11月6日 (日) 【新潟の将来像】

※主なご意見をまとめたものです。
 ピンク 新潟の良いところ、伸ばしたいところ、ウリ等
 ブルー 新潟の悪いところ、改善すべきところ等

① グループ 『水と緑と感性を育てる都市』

水辺の自然を大切に にするまち

福島潟の自然をこのまま残していくべき。

河川・水路を含む豊かな田園風景。

萬代橋がよくなったと思う。新潟・信濃川の象徴と言える。

交通問題等について

区域内移動のための交通手段が必要である。

公共交通網の整備、中央環状道路と高速道の活用。

照明灯がないところが多く、歩くには街が暗い。

災害への対応

災害時のための訓練に力を入れるべき。

各地区に避難や備蓄のための拠点を配置するべき。

地震対策等について、情報公開が必要である。

売り込み、PR

区内マップを作って、観光等に役立ててもらいたい。

競馬場をもっと市民に利用できる方策を考え、より活用していけばよい。

新鮮な地場農産物が豊富である。



検討の流れ

第1回 政令市新潟の将来像について、意見を出し合いました。

第2回 ※都市像ごとに分かれ、より具体的な内容について検討しました。

※都市像
 ◎協働と自立のまちづくり
 ◎にぎわいのある魅力的なまちづくり

第3回 前回は引き続き、検討を行い、最後に提言としてまとめました。



※その他のご意見についても、今後市のホームページ等でご紹介していきます。
 URL : <http://www.city.niigata.niigata.jp/>

② グループ 『にいがたCityブランドを宝物とした環日本海の拠点』

交通等

公共交通機関が不十分。場所によりマイカー制限も必要。

地域間交通が悪い。

道路アクセスが中心部だけで、よこのつながりが弱い。

海岸線や公共施設等において、駐車場が不足している。

ほとんど車Onlyの交通手段。通学も不便。

環日本海の拠点のまち

空港・港湾が隣接し、拠点性が高い。

明治五港として有名な新潟港